

# 東海経済レポート（2013年6月）

～経済指標は概ね好調～

経済調査室（名古屋）

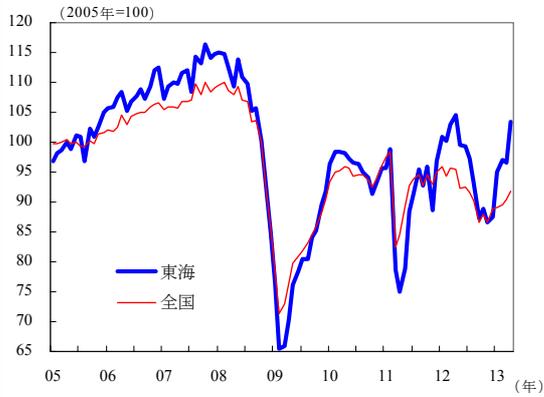
## 1. 足元の経済情勢

- ✓ 生産は、4月に前月比+6.9%と大幅上昇し、12年4月以来の水準となった。主力セクターの輸送機械が上昇を牽引。
- ✓ 輸出は、4月に前月比+6.5%と大幅に拡大。急減していた中国向けも、1月以降持ち直し。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、4月は前年比▲21.5%と11ヶ月連続でマイナス。
- ✓ 雇用では、4月の愛知県の有効求人倍率が1.26倍と2008年10月以来の水準にまで上昇。他県でも同様に上昇。
- ✓ 個人消費では、4月の新車販売台数が前年比+2.7%と8ヶ月振りのプラスに転じた。一方、同月のスーパー・コンビニ等小売主要3業態の販売は前月比▲3.1%と2ヶ月振りのマイナス。住宅着工は、概ね年率換算8万戸の水準を維持しており、底堅く推移。

## 2. 当面の注目点・リスク要因

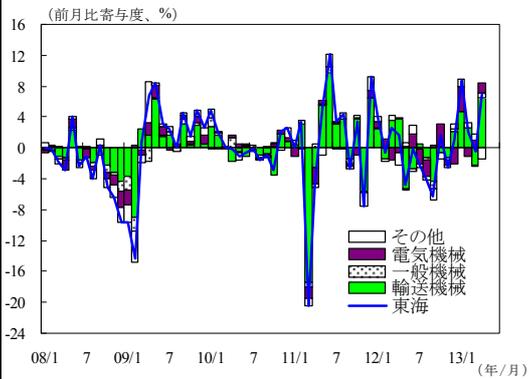
- ✓ 米国量的緩和の早期縮小観測の高まりを受けてリスク回避の動きが顕在化し、5月23日以降、株安・円高が進行。ただし今のところ家計と企業のマインドは概ね良好な状態が維持されている模様。
- ✓ ただ、ドル円が90円を割れてくる場合には、企業業績の下振れが本格的に意識され、また設備投資拡大に対する期待も後退しマインドを下押しする可能性が高まる。短期的には、米国金融政策に対する不透明感が軽減され、金融・資産市場が落ち着きを取り戻すか否かが注目される。
- ✓ 6月上旬に発表された政府の成長戦略は、やや踏み込み不足との見方もあり、参院選後に効果的に政策を具体化・実行できるかが注目される。企業および家計がデフレ脱却への自信を深め、国内設備投資や賃上げが誘発される状況を作り出すことが、持続的成長実現のための必要条件である。

**生産①** 4月の鉱工業生産指数は前月比+6.9%と大幅に上昇。12年4月以来の水準となった。



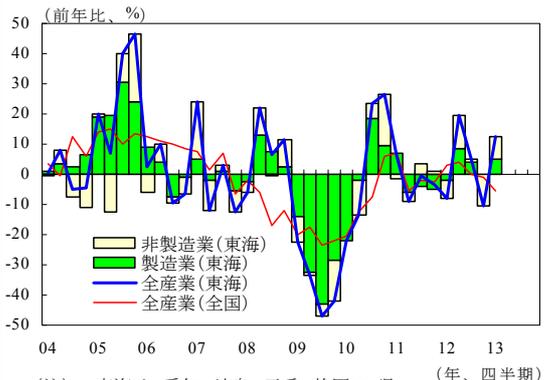
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、輸送機械が全体を牽引。



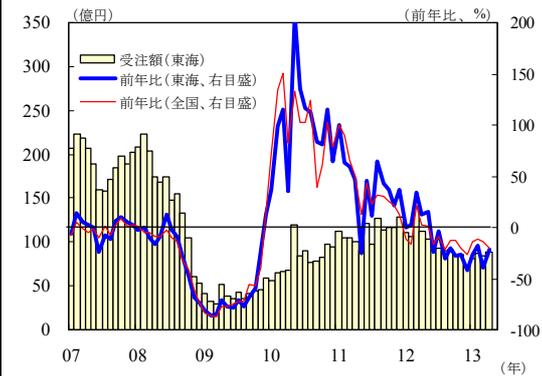
(注) 1. 季節調整値  
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類  
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 1-3月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比+12.4%とプラスに転じた。



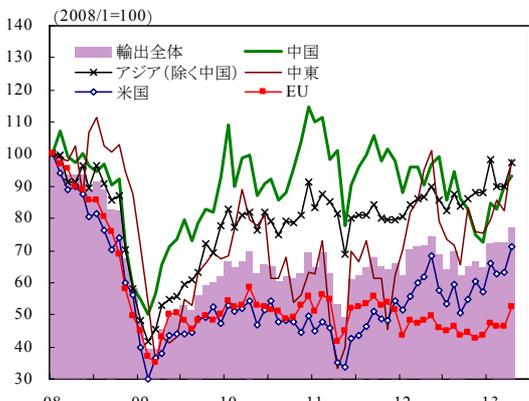
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県  
2. 資本金10億円以上の企業を対象  
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、4月は前年比▲21.5%と11ヶ月連続で減少。



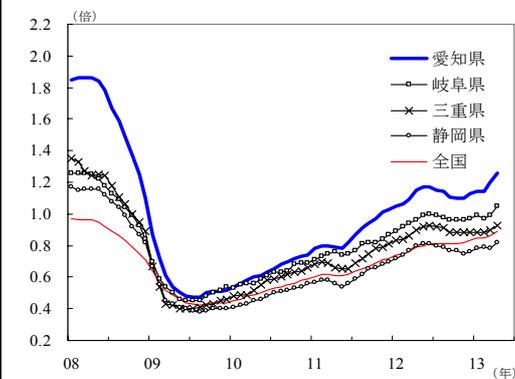
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社  
2. 受注額は当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 4月の輸出額は、+6.5%と大幅に拡大。急減していた中国向けも、1月以降持ち直し。



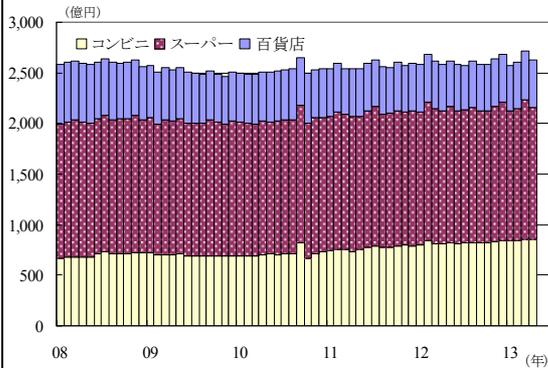
(注) 当室による季節調整値  
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 4月の愛知県の有効求人倍率は1.26倍と、2008年10月以来の水準にまで上昇。他県でも同様に上昇。



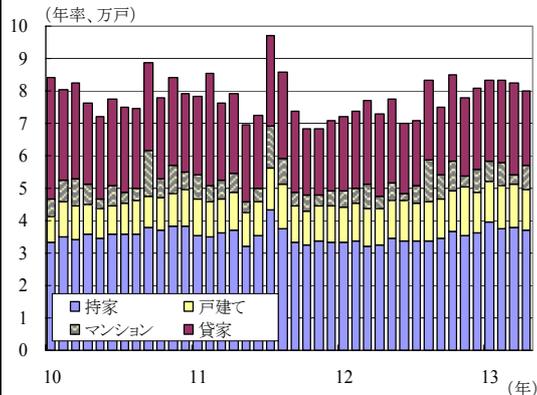
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数  
2. 季節調整値  
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 4月の小売主要3業態の販売は前月比▲3.1%と、リーマンショック後の最高水準であった3月の水準からは反落。



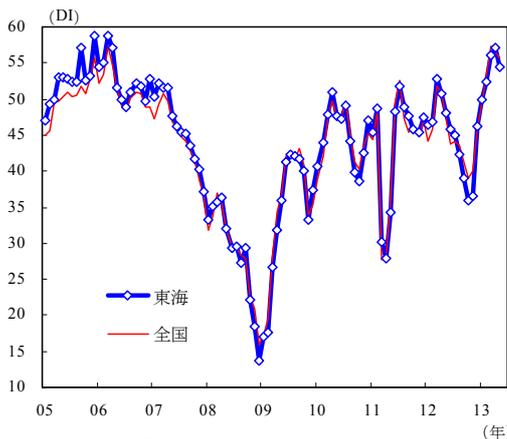
(注) 1. 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県  
2. 当室による季節調整値  
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 4月の住宅着工戸数は、年率換算で8.0万戸の水準を維持しており、底堅く推移。



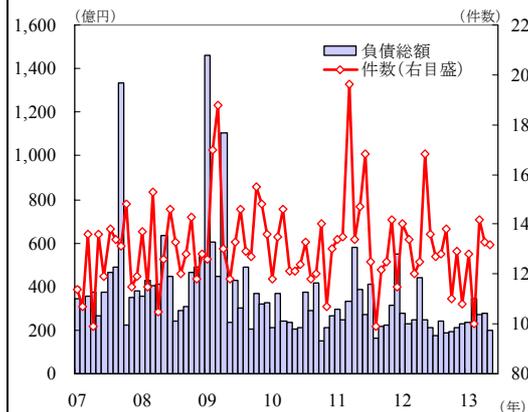
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 5月の景気現状判断DIは+54.5と、7ヶ月ぶりに反落。



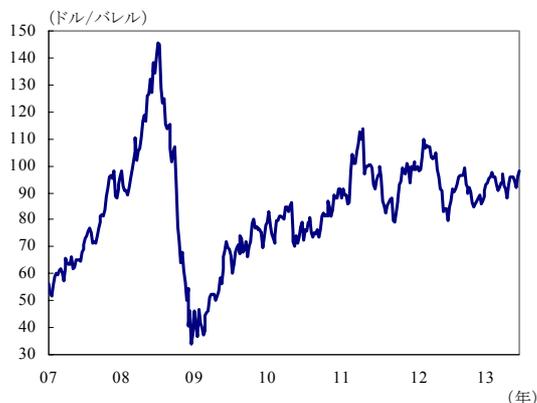
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 5月の企業倒産件数は132件と減少(前年比で▲21.4%)。負債総額も同▲17.9%の減少。



(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県  
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** シリア内戦の激化により中東情勢が緊迫化すると懸念から、90ドル後半半まで上昇。



(注) 原油価格はWTI先物  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 株価は、米国量的緩和政策の早期縮小懸念の高まりから大幅に下落。円相場は、株価下落等によるリスク回避の動きから、90円台前半まで上昇。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H25.6.18 富田 潤 jiyun\_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。